

私たちの町の遺跡

二本木発掘物語

■第一話：発掘は面白い！！

遺跡発掘の調査員は、暑い日も寒い日も、時には雨や雪の中でも外で発掘しています。辛い仕事ですが発掘調査は「おもしろい」のです。地面の下に何があるのか。いつ誰が何をした痕跡なのか。謎がいっぱいです。細かいことは「掘ってみないとわからない」。土の中から出てくるのは「答え」ではなく「ヒント」だけです。そのヒントに気付くか、どれだけのヒントを見つけられるか、調査員らの力量によります。そしてそれらをよく吟味して、答えを導きます。たくさんの謎が無限に絡み合いながら、調査が進んでいきます。常に自問自答しながら適切な作業を選択し、難解なパズルを解き進むゲームのようなものとも言えますが、発掘は「失敗＝文化財破壊」ですし、時間と費用のロスは許されないという厳しいルールがあります。文化財保護の重要な仕事だからです。それでも「おもしろい」と思えた時には大きな成果が得られます。もちろん、予想外の発見やすごいものが出てきた時の喜びも大きなものです。二本木遺跡は熊本で一番おもしろく、すごい遺跡です。貴重な発見が相次ぎ、いろいろなことがわかってきました。これから皆さんに紹介していきますので、ご期待ください。

熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室 網田龍生氏

すごいものが
出てきたぞ！

